

新院長あいさつ

院長 坂本喜三郎

いつもこども病院に支援・応援をいただき有難うございます。

また本日は、“こども病院ひろば”にお目通しをいただき重ねて感謝申し上げます。

こども病院開院40周年という節目の4月から院長を拝命し、心臓外科医に加え院長の業務を担うプレイングマネージャーになりました坂本です。病院の最終判断を担う院長としての経験はまだ浅く、皆様からご指導、ご鞭撻を賜りながら一歩ずつ成長させていただき所存ですので現時点では詳細な運営方針を記すことはできません。が、私の目指したい病院像ははっきりしています。

それは、『点を繋げて、生命の線を引く』ということです。

私は卒後2年目から静岡県立こども病院に赴任し、先天性心疾患に対する外科治療一筋で歩んでまいりました。一日でも早く恩師である横田通夫先生（現名誉院長）の手術で役に立てるようにと、昼のトレーニングに加え、夜は手術のイメージトレーニングを日課にしました。初めのうちはうまくイメージすることができず、数年後にどうにか基本症例のイメージ手術を終えて寝られるようになったのですが、改めて思い知るのが実際の手術での実力不足（知識、技術、経験すべて）でした。

それから20数年、これらの不足を感じることなく手術ができるようにと努力を積み重ねてきました。この経験を通し、いつの頃からか『手術は、最新の知識（点）と磨き上げたひと針（点）を誠実かつ確実に繋げる作業』と思うようになり、さらに『医療そのものが、点を繋げて生命の線を引く作業である、つまり各領域の professional が責任を持った仕事をし、それを繋げて患者に貢献できる行為に仕上げる作業』と思うようになりました。

『点を繋げて、命の線を引く』医療を実践・実現させるためにどのような病院を目指すのか。私なりに出した答えが『人を大切に続けられる病院』です。

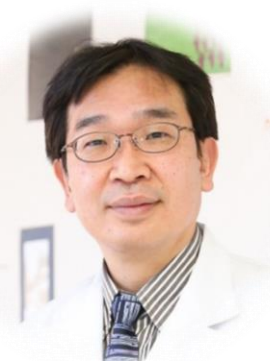
『人』とは、“患児とその家族”、“患児を紹介してくれる、または地域で診てくれる方々”、そして“患児のために共に働く私の仲間”です。

第一の“患児とその家族”を大切にするために最も大事なことは、常に時代に則した「質の高い医療」を提供することだと思います。その提供に全力で取り組みます。

次の“患児を紹介してくれる、または地域で診てくれる方々”を大切にするには、この“こども病院ひろば”を読んでくださっている方々に常に「誠実な対応」を心掛けることだと思っています。誠実に実践することを約束します。

そして最後の“患児のために共に働く当院の仲間”を大切にするというのですが、私は皆さまが外来や入院されるときだけでなく、相談されるときでも“皆さまが暖かい気持ちになっていただける、人に優しい対応ができる病院“にしたいと思っています。このためには、病院で働くスタッフのこころと身体が健全に維持されていることが必須です。

これから院長として、人を大切に続けられる病院であり続けるために病院自体の健康状態を維持しながら『無数の点を繋げる基盤を作り、より多くの命の線が引けるように』努力していきたいと思っています。皆様方の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



新任副院長あいさつ

副院長 田中 靖彦（循環器科）

今年度より副院長を拝命しました田中靖彦です。平成元年に京都大学を卒業、京都大学小児科、福井赤十字病院小児科を経て平成6年にこども病院循環器科に赴任しました。大学からは「2・3年心エコーを勉強したら帰ってこい」といわれていましたが、こども病院の先進性と静岡の風土に魅せられて今日までお世話になっています。いろいろな事情で平成21年途中から6年半ほど新生児科で責任者をさせていただきました。この間、すばらしい仲間にも恵まれ、NICUを再構築できたことは本当に幸せでした。新生児科在任中にお世話になった皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。平成28年に小野安生先生の退職に伴い「循環器科科長」と「医療安全室長」を引き継ぎました。



当院循環器センターは、循環器科、心臓血管外科、循環器集中治療科が一体となって、静岡県はもとより全国の心臓病のこどもの診療を行っています。カテーテル治療、不整脈治療、3D心エコー、胎児心エコー、心臓MRI、集中治療のエキスパートが、「あきらめない」「断らない」をモットーに、治療困難な患者さんでも最良の医療を提供できるように日々努力を続けております。成人期になられた患者さんは県立総合病院と協力して診療させていただいております。「こども病院は難しい病気しか診ない」と誤解されているところがあるかもしれませんが、そんなことはありません。検診で見つかったちょっとした心臓病など、どんなことでも気軽に御相談ください。今後ともよろしく願いいたします。

副院長 猪飼 秋夫（心臓血管外科）

この度、6月1日付けで県立こども病院副院長、心臓血管外科科長を拝命し着任いたしました猪飼秋夫と申します。着任にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

前職は岩手医科大学心臓血管外科、先天性心疾患外科治療部門の講座内教授でありましたが、この度県立病院機構田中理事長、こども病院坂本院長のご高配によりこども病院心臓血管外科で仕事をさせて頂く事になりました。こども病院で働かせていただくのは、これが10年ぶり3度目になり、こども病院創立40周年の節目の年に、静岡の小児医療に改めて関われることは大変光栄です。



都合、しばらく外からこども病院の活躍ぶりを拝見し、現在のこども病院が静岡の地域医療を担っているのは勿論のこと、私の専門としている循環器領域を始め、多くの分野で日本の小児医療で先進的な情報発信を行う医療機関となっているのを目の当たりにしてきました。少子高齢化で、医療の中心が高齢者ならびにがん治療を中心に動いている昨今ですが、未来を築く、この国の宝である子供たちの医療は、極めて大切であり、こども病院の存在意義は大変重要です。

私の使命は、坂本院長が築き上げられた小児循環器領域の医療をより良質にさせ益々発展させることは勿論のこと、大学病院での経験を元に、次の世代を担う優秀な医師を育成すること、そしてこども病院がより地域医療に根ざした医療を提供させていただき為に精進させていただきことと肝に銘じております。

まだまだ若輩で、皆様方の教えを頂く立場でございます。今後とも益々の御指導、御鞭撻を頂きますよう、よろしく願い申し上げます。

こども病院は創立 40 周年を迎えました

こども病院は、この4月に創立40周年を迎えました。その一環として、5月28日(日)に記念式典・講演会を静岡市内で開催しました。静岡県知事を始めとした来賓の方々、関係各所の皆様、また歴代院長を始めとした、新旧職員の方々を合わせ、総勢150名の方々にお越しいただきました。

式典中、川勝平太静岡県知事らから御祝辞をいただき、坂本院長が40年のあゆみを紹介しました。

記念講演会として、国立研究開発法人 国立成育医療研究センターの五十嵐 隆理事長をお招きし、「これからの小児医療と小児保健」と題して御講演頂きました。小児医療に携わる者すべてに今後の小児医療についての考えを深める、大変興味深く貴重な講演を頂きました。

また、「40周年記念誌」を発行いたしました。歴代院長を始めとした新旧職員の皆様のご寄稿と各セクションの皆様へ寄せていただいた原稿や写真を中心とし、写真を多く取り入れた明るいデザインの記念誌となりました。

こども病院は、1977年4月の開院以来、「静岡県の小児医療の最後の砦」として、「胎児期から思春期まで」、「こころの病気から体の病気まで」、「救急疾患から慢性難治疾患まで」あらゆる患者様の医学的問題に対処できる真に総合的な小児医療施設として進化してまいりました。今後も国内外の小児医療に貢献できるよう、職員一同一層の努力を重ねてまいりますので、皆様の御指導の程、よろしくお願いいたします。

news

SAT(抗菌薬適正使用チーム)の取組が「第1回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰」において「薬剤耐性減らそう!」応援大使賞を受賞しました!

当院SAT(抗菌薬適正使用チーム)の取組「SATによる抗菌薬適正使用の推進と耐性菌抑制」が、「第1回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰」にて「薬剤耐性を減らそう!」応援大使賞を受賞しました。

薬の処方を行う医師を対象とした教育・啓発活動で、この取組により、院内での抗菌薬使用量が全体で2割減り、年間薬2,000万円のコスト削減に成功するなど、様々な効果がありました。

6月26日(月)に東京の日本科学未来館にて表彰式が行われ、当院から小児感染症科の庄司貴代医長らが出席し、表彰状を受け取りました。



こども病院 オープンセミナーのご案内

月に1度、院外の医療関係者の皆様も対象としたセミナーを開催しています。今後のスケジュールは以下のとおりです。

平成29年9月7日(木) 18時30分～「こどもの麻酔『泣かずに来て、泣かずに帰る』」麻酔科 諸石 耕介先生

平成29年10月5日(木) 18時30分～「小児科診療で出会う整形外科疾患」整形外科 松岡 夏子先生

***** 組織改正・人事異動情報 *****

●診療部・診療科の名称変更

平成29年度の組織改正により、次のとおり、診療部名・診療科名（院内標榜）を見直しました。

（新設・分科） 消化器外科 （新設・分科） 呼吸器外科

●人事異動

平成29年度の人事異動により、表1のとおり、職員の採用・退職・転入・転出がありました。8月1日現在の主要な医師は、表2のとおりです。

表1 職種別人事異動一覧

3/31、4/1現在

職種	退職	転出	採用	転入
医師	22	0	24	0
看護師	14	5	33	3
コメディカル	3	0	1	0
事務	0	7	0	8

表2 役職別主要医師一覧（診療科長以上）注：「*」は兼務を示す。

H29.8.1現在

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
院長	坂本 喜三郎	血液腫瘍科	渡邊 健一郎	歯科	加藤 光剛
副院長	朴 修三	血液凝固科	堀越 泰雄*	麻酔科	奥山 克巳
副院長	西口 富三	遺伝染色体科	石切山 敏	病理診断科	岩淵 英人
副院長	田中 靖彦	内分泌代謝科	上松 あゆ美	発達小児科	溝渕 雅巳
副院長	猪飼 秋夫	腎臓内科	和田 尚弘*	こころの診療科	山崎 透*
情報管理部長	河村 秀樹	免疫・アレルギー科	木村 光明*		
内科系診療部長	和田 尚弘	神経科	渡邊 誠司	【室長】	
外科系診療部長	漆原 直人	循環器科	田中 靖彦*	医療安全管理室	田中 靖彦*
こころの診療部長	山崎 透	小児集中治療科	川崎 達也*	感染対策室	木村 光明*
診療支援部長	木村 光明	皮膚科	—	チーム医療推進室	奥山 克巳*
【センター長】		放射線科	—	地域医療連携室	和田 尚弘*
周産期センター	西口 富三	臨床検査科	河村 秀樹*	小児がん相談室	渡邊 健一郎*
新生児センター	中野 玲二	小児外科	漆原 直人*	臨床研究室	渡邊 健一郎*
循環器センター	田中 靖彦*	消化器外科	漆原 直人*	治験管理室	田代 弦*
小児集中治療センター	川崎 達也	呼吸器外科	福本 弘二*	国際交流室	坂本 喜三郎*
小児救急センター	唐木 克二	心臓血管外科	猪飼 秋夫*	ボランティア活動支援室	上松 あゆ美*
予防接種センター	木村 光明*	循環器集中治療科	大崎 真樹	診療情報管理室	河村 秀樹*
こころの診療セク	山崎 透*	脳神経外科	田代 弦	ITシステム管理室	河村 秀樹*
医師研修推進セク	和田 尚弘*	整形外科	滝川 一晴	輸血管理室	堀越 泰雄*
【診療科長】		形成外科	朴 修三*	臨床工学室	大崎 真樹*
総合診療科	関根 裕司	眼科	—	成育支援室	堀越 泰雄*
小児感染症科	莊司 貴代	耳鼻いんこう科	橋本 亜矢子	リハビリテーション室	滝川 一晴*
小児救急科	唐木 克二*	泌尿器科	濱野 敦	心理療法室	山崎 透*
新生児科	中野 玲二*	産科	西口 富三*	栄養管理室	渡邊 誠司*

読者からの投稿を受け付けています

小児医療や当院に関する意見、質問をお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号を明記、あて先は、〒420-8660 静岡県立こども病院医療サービス課「ひろば読者投稿」係(FAX:054-247-6259、MAIL:kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp)。原則として200字以内でお願いします。